

2020年2月20日 長崎市立虹ヶ丘小学校 出前講座

今回は、長崎市立虹ヶ丘小学校6年生のPTA親子レクレーションに声をかけて頂き、長崎大学遺伝教育プロジェクトメンバー5名で行って来ました。虹ヶ丘小学校は長崎中心部より少し離れた高台の見晴らしの良い場所にあります。今回、子ども達が日頃から学んでいる教室で講座を開催することができ、とても貴重な経験でした。参加者は生徒20名と保護者20名、担任の先生1名の総勢41名で、みんながお互いに知る者同士で、会話も弾み、ワイワイにぎやかな中で進めることができました。今回の講座は40分のショートバージョンでした。



まずはじめは、「PTUの味」です。希釈したPTU液を浸み込ませた「ろ紙」を舐めてみ

ます。苦い味で顔をしかめる人が半数以上いました。

続いて「遺伝の木」です。ここでは身体の特徴を見ていきました。生徒達は鏡やルーペを使って、自分の特徴をじっくり確認しました。中には自分の特徴を友達や保護者と比べる生徒もいて、自分だけでなく、周りの人にも関心をもつ機会になりました。以下が確認した特徴です。



『巻き舌』『V字の生え際』『耳たぶ』『指の毛』『二重まぶた』『親指の曲がり方』『えくぼ』『天然パーマ』『耳垢』

ここで大事なことは、特徴はあるから良いとか、無いから

ダメとか、そういうことはありません。今回は『二重まぶた』『親指の曲がり方』『巻き舌』の特徴を一人ひとりの葉っぱにして、<遺伝の木>に貼って、今日のクラスの<遺伝の木>が出来上がりました。よくみると、全ての枝に葉っぱがつけました。これより、一人ひとりの特徴の組み合わせは様々であること、人の「多様性」がわかりました。



最後に「特性ゲーム」です。ゲームのやり方は、参加者は全員起立した状態でスタートします。代表者が前に出てきて、自分の特徴を発表します。代表者と違う特徴をもつ

人は座り、それ以降、立つことはできません。いくつかの特徴を繰り返すうちに、代表者は一人になります。今回、生徒2名に代表者になってもらいました。一人は9つの特徴で、もう一人は4つの特徴で一人になりました。一つの特徴だけみると、ある人ない人色々ですが、複数の特徴でみると、特徴の同じ組み合わせをもつ人は誰もいない、人の「唯一性」がわかりました。一人ひとりが世界でたった一人の大切な人ということです。

今回、間もなく卒業を迎える6年生の子ども達と保護者と一緒に勉強しました。子ども達は4月から中学生になります。これから新たな仲間と出会い、いろんなことにチャレンジし、時には悩んだり、喧嘩したり、たくさんの経験をしながら、成長していくと思います。そんな中でも、「自分を大切に、そして周りの人を大切に」思う気持ちをいつも大切にしてほしいと思います。

最後になりますが、ご卒業おめでとうございます！

文責：佐々木規子